

第3章：悪魔による永遠の支配

なエネルギーを抑制する方法を与えたと考える人もいる。ほとんどの分析者は、事実の複雑な混合を認めることに用心深い。しかし、心理学者、神学者ともに正しい説明であると考えているものに、アドルフ・ヒトラー自身が行ったものがある。「彼ら国家社会主義を政治運動としか考えていない者は、それについてほとんど何も知らない。それは宗教である。人類を刷新しようという意志である」

ナチズムやその他説明が困難な現代の悪について理解しようとする努力の中で、多くの哲学者や心理学者は人間の心の未知の部分である潜在意識の領域を調べ、それによって、どのように普通の人間が受動的に悪に協力するのか説明することを助けるだろう。

広く知られている心理学研究が 1971 年、スタンフォード大学のフィリップ・ジンバルドによって行われ、人は完全な権力を手にしたとき、心の「闇の部分」が解放されることを示した。この実験のために、ジンバルドはスタンフォード大学の心理学棟の地下を擬似刑務所に改造した。ボランティアが新聞の求人広告で集められ、21 人の応募者があった。ほとんどが中流の大学生であり、肉体的・精神的に健康な者が選ばれた。ボランティアの半分が囚人に、半分が看守に割り当てられた。囚人は裸にされ身体検査を受け、物を取り上げられ、囚人服を着せられた。看守は「刑務所内を適度な秩序を維持するように」命じられたが、肉体的な暴力は禁止された。

実験は 2 週間の予定であった。初日、一人の囚人が異常に興奮したので解放された。実験 2 日目、残りの囚人が部屋にバリケードを作り反抗し、看守を罵倒した。看守は激しく抵抗し、サディステックに囚人を服従させるために虐待し始めた。実験 4 日目、さらに 2 人の囚人が、重大な精神不安を見せ始めたので解放した。一方で、看守は支配することをだんだん楽しみ始めた。わずか 6 日後、恐れたジンバルドは実験を中止した。中止した実験は、ジンバルドによると「社会的な権力、組織的な力は、善良な人間を悪の行為に走らせる」ことを示した。

ジンバルドの研究と多くの共通点がある実験が 1960-1963 年にかけてイエール大学のスタンレー・ミルグラムによって行われた。これは人

第3章：悪魔による永遠の支配

間の権威に対する服従を評価するために行われた。ミルグラムはボランティアに対して、実験は記憶に及ぼす罰の効果を調べるためのものだと説明した。彼らは「被験者」と「学習者」に分けられた。白衣を着た実験者は被験者に一連の質問の答えが間違っていた場合には、学習者に電気ショックを与えるように指示する。答えを間違うごとに、被験者は電圧を上げるように命じられている。被験者は30個のスイッチを持ち、15ボルトから最高450ボルトまで増加する。電圧はわずかなものから、激しい衝撃で危険なものまでラベルがされている。最後の二つのスイッチにはXXXと印があった。

「被験者」には知らされていないが、「学習者」はまったく衝撃受けていない。彼らは単に演技してただけだ。150ボルトで、被験者は実験を止めるようお願いされる。270ボルトで学習者は激痛で叫び始める。もし被験者が実験を止めてもよいか尋ねた場合には、実験者は断固として続けるように命令する。

精神科医たちは300ボルトまで実験者の命令に従う者は3.73%、最高の450ボルトまで上げる者は1000人に一人に過ぎないとあらかじめ予想した。実際には、最高の450ボルトまで実験者の指示に従ったミルグラムの被験者は62%いた。つまり、ほとんどの者が、権威を持っている人間に命じられたとき、人間に対して致命的な電気刺激を与えたのだ。

多くの人々が、権威に従って行動したいと望んでいる。それらは人や、組織や、イデオロギーであり、個人的な責任を減らすことになる。スタンレー・ミルグラムは被験者に、学習者の怪我については責任を負うことを伝えた。アドルフ・ヒトラーもハインリヒ・ヒムラーもドイツ人に向けて同じことを言った。

残念ながら、そのような心配な結果は実験室に限定されていない。同様の責任のあいまいにすることは、20世紀後半の大衆社会でも見られ、大多数の間の不満と、ごく少数に向けられた絶望的な調査を導いた。「平均的なアメリカ人は信じられないほど内気である」とアーサー・ライアンズは1988年の悪魔崇拜カルトを調査し、『Satan Wants You』を著